

【グリーンテック分野】シンガポール・スタートアップ ピッチセッション・交流会 in 北九州

ジェトロ北九州・北九州市は、3月12日（水）13時よりリーガロイヤルホテル小倉にて、北九州企業のオープンイノベーションや海外企業との協業・連携のきっかけを生み出すことを目的として、グリーンテック分野を中心とした、シンガポール・スタートアップ5社によるピッチ・交流会イベントを開催します。シンガポール企業庁が推薦する、将来有望かつ日本進出に意欲的な企業が集まりました。



登壇スタートアップとして、Accupredict社は、振動情報をもとに従来よりも正確な障害発生位置を検知できる予知保全技術ですすでに海外展開しています。Atera Water社は、低コストの膜改修ソリューションと大気中の水生成技術に特化しています。Eigen Energy社は、エネルギー貯蔵システム（ESS）とEV充電ソリューションが専門です。Etavolt社は、太陽光発電システムの設置・運用・リサイクルそれぞれでサービスを提供。QuickBot Technologies社は、ビル等で自律型配送ロボットによるラストマイル配送で商用試験を開始しています。

日時

2025年 3月12日（水） 13:30～17:00
（交流会 15:30～17:00（予定））

会場

リーガロイヤルホテル小倉 3階 会場：エンパイアルーム
所在地：北九州市小倉北区浅野3丁目8-1

プログラム

1. 開会挨拶
2. 北九州企業によるセッション（調整中）
3. シンガポール・スタートアップ5社によるピッチセッション
【登壇企業】 Accupredict, Atera Water, Eigen Energy, Etavolt, QuickBot
4. シンガポール・スタートアップと地元企業の交流会（15:30-17:00）
※日英通訳あり。

申込方法

下記URLよりお申し込みください。申込締切：3月10日（月）17時
<https://www.jetro.go.jp/customer/act?actId=B0070769F>

主催・協力

ジェトロ北九州・北九州市（主催）、シンガポール企業庁（協力）

お問合せ先：ジェトロ北九州 石井・錦戸

<電話> 093-541-6577

<メール> KIT@jetro.go.jp

登壇シンガポール・スタートアップ紹介

Accupredict <予知保全、製造業、機械>

30年以上にわたり、予知保全を同社のコアコンピタンスとしてきた。実績は、エンジニアリング、発電、化学薬品、海運、風力発電、配送など、業界を横断する顧客ベースから信頼を獲得。インド、中東、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカなど、世界中に顧客を持つ。これまでに築いた、強力なエンジニアチームは、機器故障を予測するために同分野で深い技術的専門知識を持つ。振動情報を元に、従来の機械学習アルゴリズムだけではなく、物理学を応用したアルゴリズムを使用することで、より正確な障害発生位置を探知できる。また、センサーはユーザーが使用しているものも活用でき、既存のダッシュボードへの統合も可能。シンガポールに本社を置き、インドでも大きなプレゼンスを持つ。

Atera Water <環境、水技術>

低コストの膜改修ソリューションと大気中の水生成（AWG）技術に特化した水技術企業。彼らの革新的な技術は、空気中の水分を抽出して清浄な飲料水を生産し、従来の水源が乏しい地域に持続可能なソリューションを提供する。同社の先進的な水処理・浄化アプローチは、クリーンな水をより身近で手頃な価格にすることを目指している。既存の水処理インフラの効率を改善することで、水の保全に貢献し、水処理プロセスに関連するエネルギー消費の削減を実現している。同社の技術は、特に水資源が限られた地域において、持続可能かつ効果的な水供給ソリューションとして可能性を有する。同社は、革新的な方法で世界の水不足問題に取り組み、より持続可能な未来の実現への貢献を目指している。

Eigen Energy <環境、エネルギー、EV充電>

エネルギー貯蔵システム（ESS）とEV充電ソリューションを専門とするスタートアップ。彼らの技術は、持続可能な交通とスマートグリッドシステムの成長に大きく貢献し、より広範な再生可能エネルギーへの移行を支援する。高度なESSを開発することで、再生可能エネルギーの主要な課題である太陽光や風力などの間欠性に対処する。彼らのEV充電ソリューションは、さらに輸送の電化を支援し、炭素排出量削減の重要なステップとなっている。同社の取り組みは、クリーンエネルギーの既存インフラへの統合を加速し、様々なセクターでより効率的なエネルギー使用の促進を目指している。

Etavolt <環境、エネルギー、太陽光パネル>

2019年11月に南洋理工大学（NTU）からスピンオフしたディープレックのシンガポール・スタートアップ。同社は、持続可能な未来に向けた革新的なPVシステムの循環型経済の構築を目指し、太陽光発電（PV）システムのライフサイクル全体にわたる、次の4つのソリューションを提供。①太陽光発電設置時に、3分以内のビジュアル化と見積もりを提供するツール。②過去のインバーターデータを分析し、発電性能の低下原因を特定して実用的な改善策を提供するPVシステム健康診断ツール。③PVシステムの性能を最大化し、寿命を延ばすための特許技術を活用したメンテナンスソリューション。④環境に優しい機械的手法を用いて使用済み太陽光パネルを処理、物流コスト削減と運用効率向上を実現するスマートな分散型リサイクルソリューション。

QuickBot Technologies <物流>

2018年にシンガポールで設立。世界初の「自律型ラストマイルデリバリーPaaS」を提供。同社の使命は、スマートシティにおける物流の始点から終点までを革新し、効率的かつ持続可能な配送ソリューションを実現すること。サウスビーチ開発やサンテックシティなど、シンガポールの主要拠点で概念実証を成功させ、商業試験を開始している。また、SMRTやFedEx、SingPostなどの業界リーダーと戦略的パートナーシップを締結し、500棟のビルへのサービス展開を目指す。さらに、東京、大阪、福岡、ドバイ、ソウル、シドニーなどへの国際的な拡大も計画。都市物流の効率化と持続可能性の向上にも取り組んでいる。